

楽々通信

第 124 回 NPO 法人楽の会リーラ 月例会

【日時】 2024 年 11 月 16 日 (土) 13 時～17 時

【場所】 豊島区立産業振興プラザ IKE・Biz 6 階 多目的ホール

【主催】 NPO 法人楽の会リーラ 【共催】 豊島区

1. 事務局から連絡：資料のメールによる送信の協力依頼、女子カフェの案内、他

施設紹介：訪問看護ステーション、居住支援、等

2 講演：テーマ ひきこもりと発達障害

～神経発達症（発達障害）がある又はうたがわれる場合の対応について～

講師 喜多見 学 氏（臨床心理士・公認心理士）

東京公認心理士協会理事(株)こうゆう執行役員

NPO法人 子育て応援隊むぎぐみ代表

○神経発達症（発達障害）とは…（原因と遺伝子の関係）

親のしつけの失敗や愛情不足が原因ではないが

環境によって症状の発症に強弱が生まれることも考えられる

稀に病気や事故や環境の影響などによって後天的に生じることもあるが

多くは先天的で脳神経の発達水準での遺伝的な要因があるだろうとも

考えられる

○ひきこもりと神経発達症の関係と

神経発達症（発達障害）の特性があるひきこもり者への支援

集団生活や社会集団への不適應について

ある人は同年代の仲間と比べて様々な事がうまくできないため

人から注意や叱責、非難される経験から

自尊心の低下、又は他者に対する否定的な感情を抱き

結果として不登校やひきこもりになる事がある これを 2 次的問題

（2 次障害）と呼ぶ 原因への理解が必要である

個々の行動をよく観察して、環境による困難性を除去、あるいは軽減するよう調整や対策を講じる事が必要であるが

いずれにしても個人の困難性を理解することが最も重要である

文責：運営委員 増淵由子